

環境経営レポート

2022年度

(対象期間:2022年10月～2023年9月)



発行日:2023年12月22日



ariake engineering co. ltd.

株式
会社

有明エンジニアリング

目 次

1	組織の概要	1
2	環境経営方針	3
3	実施体制	4
4	環境経営目標	5
5	環境経営計画	6
6	環境経営目標の実績(2022年度)	7
7	環境経営計画の取組結果と 評価、次年度の取組計画	8
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
9	代表者による全体の評価と見直し・指示	10

1.組織の概要

1.組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 有明エンジニアリング
TEL : 0952-30-5733 (代) FAX : 0952-30-5902
E-mail neo@po.saganet.ne.jp
[URL:http://www.ariake-en.co.jp](http://www.ariake-en.co.jp)
- 代 表 者 代表取締役 西 秀 雄
創 立 昭和40年3月1日 (1965年3月1日)
(対象期間 : 500万円)
- 2) 所在地 本 社 〒849-0926 佐賀県佐賀市若宮1丁目6番33号
唐 津 支 店 〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎砂子2335-2番地
武 雄 支 店 〒843-0012 佐賀県武雄市橘町大字片白8976番地2
鳥 栖 営 業 所 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町五反三歩1499番地8
柳 川 営 業 所 〒839-0251 福岡県柳川市大和町明野223
小 郡 営 業 所 〒838-0103 福岡県小郡市三国が丘1-130
みやき営業所 〒849-0111 佐賀県三養基郡みやき町大字白壁86-1
伊万里営業所 〒849-5261 佐賀県伊万里市松浦町桃川5652
- 3) 環境管理責任者
担当者氏名 技術参与 副島 友彦
Eメールアドレス soejima@ariake-en.co.jp
- 4) 事業の内容
建設総合コンサルタント業
(建設コンサルタント部門、測量部門、補償コンサルタント部門、地質調査部門)
- 5) 業者登録
建設コンサルタント登録番号 : 建04第8896号
測量業者登録番号 : 登録第(10)ー10565号
補償コンサルタント登録番号 : 補03第1288号
地質調査業者登録番号 : 質05第2451号
一級建築士事務所登録番号 : 第はー1189号

6) 事業の規模

総売上額：約358百万円（令和4年度）

従業員数：総人員 40人（男 36名、女 4 名）

床面積：	本 社	189.97
	唐津支店	492.48
	合 計	682.45 m ²

7) 事業年度

10月1日～翌年9月30日

2.認証・登録の対象範囲

- 1) 事業活動 建設総合コンサルタント業（建設コンサルタント業、測量業、
補償コンサルタント業、地質調査業、一級建築士事務所）

- 2) 対象事業所 本 社
唐 津 支 店

2. 環境経営方針

株式会社有明エンジニアリングは、地域と共に発展していくために、企業活動を通じて、環境経営の継続的改善に取り組み、地域への責任と役割を目指します。

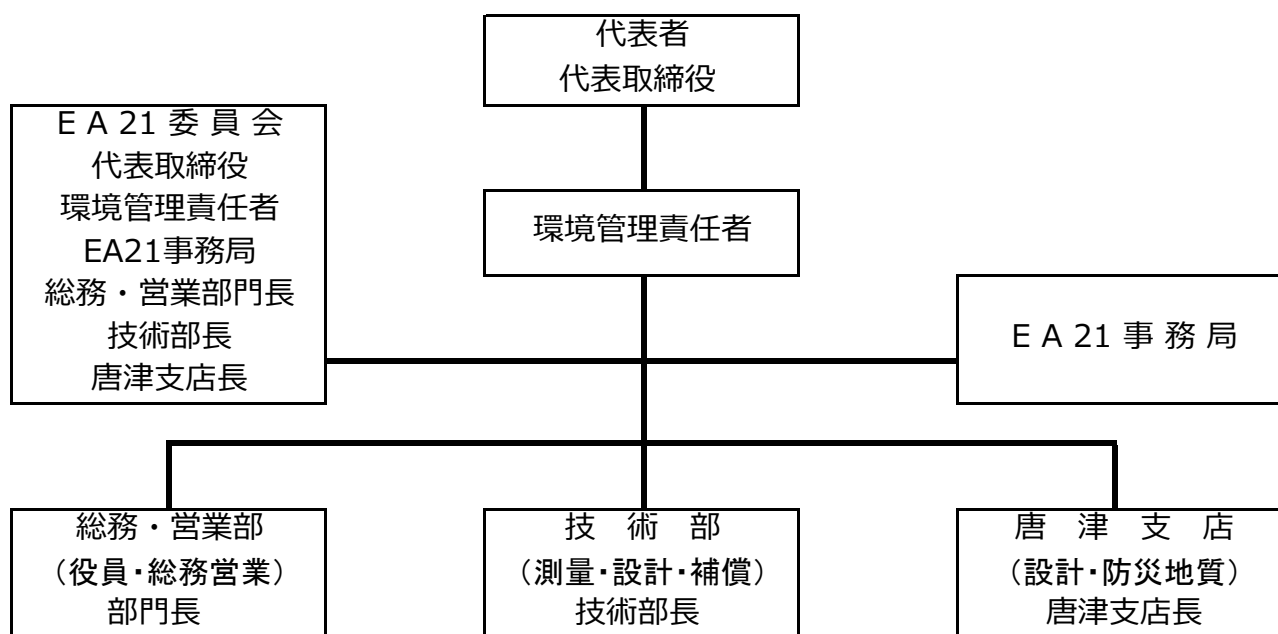
1. 環境に配慮した設計及び提案又はコンサルティングを行い、環境保全、環境汚染の防止に努めます。
2. 次の事項を重点項目として継続して取り組みます。
 - (1)二酸化炭素排出量削減のためエネルギー使用量削減
 - (2)廃棄物の排出量削減
 - (3)水の使用量削減
 - (4)紙資源削減のためペーパーレスに積極的に取り組む
3. 当社の事業に関連する環境関連法規等を順守します。
4. 環境経営目標及び環境経営活動計画を策定し、継続的に改善を行います。
5. 環境経営方針を全社員に周知し、社員一丸となった環境活動を推進します。
6. 行政機関や環境団体等に協力をして、地域の環境保全活動に参加し地域貢献活動を推進します。

制 定 日 令和2年9月25日

株式会社 有明エンジニアリング

代表取締役 西 秀雄

3. 実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代 表 者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、社員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施する為の資源（人・もの・金）を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
E A 21 委 員 会	・3ヶ月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
E A 21 事 務 局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部 長 部 門 長 支 店 長	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する。 ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。 ・自部門で発生した問題点としての是正処置、予防処置を実施する。 ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全 社 員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する ・全社員がSGDsの取組みの必要性を自覚する

4. 環境経営目標

環 境 経 営 目 標

番号	項 目	単 位	2019.10～ 2020.9 実績値目標 設定基準	2020.10～ 2021.9 目標	2021.10 ～2022.9 目標	2022.10～ 2023.9 目標
1	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	34,509	34,163 1%削減	33,818 2%削減	33,473 3%削減
1-1	電力使用量	kWh	27,610	27,334 1%削減	27,058 2%削減	26,782 3%削減
1-2	ガソリン使用料	L	10,459	10,355 1%削減	10,250 2%削減	10,145 3%削減
2	廃棄物排出量	k g	3,492	3,457 1%削減	3,422 2%削減	3,387 3%削減
3	水の使用量	m3	159	157 1%削減	156 2%削減	154 3%削減
4	紙の使用量	枚	485,000	480,150 1%削減	475,300 2%削減	470,450 3%削減
5	環境に配慮した設計の提案	件	10	11	12	13
6	地域貢献活動の推進	回	3	4	5	6

* 電力の二酸化炭素排出係数 九州エナジー2019年度・調整後0.391kg-CO₂/kWhを使用

5. 環境経営計画

環境経営計画

番号	項目	活動項目	担当部所	日程
1	二酸化炭素排出量の削減	・電気使用量の削減	本社 唐津支店	10月～9月
		・ガソリン使用量の削減		10月～9月
1-1	電力使用量の削減	・エアコン温度の設定	本社 唐津支店	10月～9月
		・使用していないパソコンも電源を切る		10月～9月
		・不要箇所の照明の消灯 (昼休み・残業時・外出時)		10月～9月
1-2	ガソリン使用量の削減	・エコドライブの意識	本社 唐津支店	10月～9月
		・ガソリン使用量の管理		10月～9月
		・アイドリングストップ		10月～9月
		・不要な荷物を積まない		10月～9月
		・急発進・急ブレーキの抑制		10月～9月
2	一般廃棄物排出量の削減	・分別する	本社 唐津支店	10月～9月
		・紙資源の削減		10月～9月
		・裏紙の有効活用		10月～9月
3	水使用量の削減	・節水活動	本社 唐津支店	10月～9月
4	紙資源の削減	・IT化推進(ワークフロー)	本社 唐津支店	10月～9月
		・両面・集約印刷を行う		10月～9月
5	環境に配慮した設計の提案	・多自然型等設計 ・騒音・振動対策、バリアフリー化等	技術部・設計 (本社・唐津支店)	10月～9月
6	地域貢献活動の推進	・地域での環境活動への参加	本社 唐津支店	10月～9月
		・会社周辺の清掃		10月～9月

6. 環境経営目標の実績(2022年度)

活動期間：2022年10月～2023年9月

環境経営目標	単位	基準年 2019年10月 ～2020年9月	2022年10月～2023年9月				結果の評価
			目標 3%削減	実績	達成率 %	達成 状況	
1 二酸化炭素排出量削減	kg・CO ₂	34,509	33,473	38,085	87.9	×	社員の意識が芽生えたが、コロナウイルス対策にて換気をする為、窓を開放し設定温度を上げた為と思われる。今後コロナ感染が解消したら、少しずつ削減出来ると思います。アイドリングストップ及び急発進・急ブレーキの抑制の効果が表れていると思われるが、唐津支店の自動車数が基準年時より増大している為ガソリン使用量が多くなっている。
(1)電気使用量削減	kWh	27,610	26,782	25,770	103.9	○	
本 社	kWh	19,945	19,347	17,802	108.7	○	
唐津支店	kWh	7,665	7,435	7,968	93.3	×	
(2)ガソリン使用量削減	l	10,459	10,145	12,073	84.0	×	
本 社	l	7,192	6,976	7,301	95.6	×	
唐津支店	l	3,267	3,169	4,772	66.4	×	
2 一般廃棄物排出量削減	kg	3,492	3,387	3,492	97.0	×	一般廃棄物処理委託契約内容の見直しが必要
3 水使用量の削減	m ³	159	154	125	123.2	○	節水活動により節水シールの添付により社員の意識改革が開始された。
節水活動 本社	m ³	114	110	91	120.9	○	
唐津支店	m ³	45	44	34	129.4	○	
4 紙資源の削減(A-4版)	枚	485,000	470,450	367,900	127.9	○	紙の使用量は、少なくなりましたが、クラウド化により、もっと紙の削減が可能と思われる。
本 社	枚	370,000	358,900	217,500	165.0	○	
唐津支店	枚	115,000	111,550	150,400	74.2	×	
5 環境に配慮した設計の提案	件	10	13	4	30.8	×	設計協議で提案しても予算上で却下される
6 地域貢献活動の推進	回	3	6	6	100.0	○	コロナ禍で地元住民とのコミュニケーション不足

備考

- 1 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.391kg-CO₂/kWh(九州エナジー2019年度・調整後)を使用
- 2 目標値は、基準年の10月～9月の値の97%値である。(3%削減値)

7. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画

環 境 経 営 計 画

番号	項 目	活 動 項 目	評価	評価及び次年度の環境経営目標及び環境経営計画
1	二酸化炭素排出量の削減 (本社・唐津支店)	・電気使用量の削減	○	社員の意識が芽生え始めたが 今後、数字の改善に努める。
		・ガソリン使用量の削減	×	
1-1	電力使用量の削減 (本社・唐津支店)	・エアコン温度の設定	○	コロナウイルス対策で、窓を開放し 温度を上げた為、今後様子を見ながら調整 していきたい。
		・使用していないパソコンも電源を切る	○	
		・不要箇所の照明の消灯 (昼休み・残業時・外出時)	○	
1-2	ガソリン使用量の削減 (本社・唐津支店)	・エコドライブの意識	×	エコドライブの意識で、社員が 目覚めたが、尚削減に努める。
		・ガソリン使用量の管理	○	
		・アイドリングストップ	×	
		・不要な荷物を積まない	○	
		・急発進・急ブレーキの抑制	○	
2	一般廃棄物排出量の削減 (本社・唐津支店)	・分別する	○	分別及び削減は行っているが、設定 基準値が高いために一般廃棄物の 分別管理を見直す。
		・紙資源の削減	○	
		・裏紙の有効活用	○	
3	水使用量の削減 (本社・唐津支店)	・節水活動	○	今後も節水活動を進める。 (2か月に1回請求あり)
4	紙資源の削減 (本社・唐津支店)	・I T 化推進(ワークフロー)	○	年度末に向けて成果品の納入が多く なると思うが印刷の集約に努める。
		・両面・集約印刷を行う	○	
5	環境に配慮した 設計の提案 技術部・設計 (本社・唐津支店)	・多自然型等設計 ・騒音・振動対策、バリアフリー化等	○	より多く提案し、役所を説得させる。
6	地域貢献活動の推進 (本社・唐津支店)	・地域での環境活動への参加	○	地元自治会とコミュニケーションをはかり ボランティア活動を行う。
		・会社周辺の清掃	○	今後も清掃活動を行う。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項等（内 容）
一般廃棄物の処理 （佐賀市廃棄物の減量推進及び 適正処理等に関する条例）	一般廃棄物処分業者への委託
家庭リサイクル法	再商品化実施業者への引き渡し
使用済自動車の再資源化等に関 する法律 （自動車リサイクル法）	引き取り業者への引き渡し
フロン類使用の合理化及び管理 の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	簡易点検の実施

2023年10月23日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反は、ありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

記録その1：評価及び見直しに必要な情報（環境管理責任者） 記録日：2023年12月15日

	環境経営目標	環境経営目標の達成状況	環境経営計画の実施状況	コ メ ント
環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況	二酸化炭素排出量の削減（電気、ガソリン）	×	×	社員全員に周知できていて目標に向かって進んでいます。徹底されていない部分はあると思います。今後、二酸化炭素排出量の削減についてはコロナウイルス感染拡大対策しながら環境経営に寄与したいと思っています。紙資源の削減については、唐津支店と協議を行い改善したいと思います。尚、一般廃棄物排出量の分別を行っているが、業者の回収に問題あり。今後検討を行う。
	廃棄物排出量削減	×	○	
	水使用量の削減	○	○	
	紙資源の削減	○	○	
	環境に配慮した設計の提案	×	○	
	地域貢献活動の推進	○	○	
環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	遵守されています。			
外部からの苦情等の受付結果	業務管理においては、重大なミスや苦情等は発生していません。			
前回の代表者の指示事項とその取組結果	地域環境活動への（ボランティア）積極的参加の指示がありましたが仕事優先で出来なかった。			
その他（前回の審査での指摘事項の改善結果、その他改善への提案）	・環境経営方針で、継続的改善が明確で無かったため、継続的改善を「環境経営方針」に追記し明確にしました。 ・環境経営計画の活動項目の見直すことで、環境に配慮した設計の提案が進む。 ・文書類の作成・管理の見直しで、全体の年間スケジュールについて改善を行った。			

記録その2：評価及び変更の必要性和指示（代表者）記録日：2023年12月22日

環境経営システムが有効に機能しているか	環境経営システムは有効に機能している。 社内共有データのクラウド化や連絡等を行うビジネスチャットツール、オンライン会議の導入の効果で紙の使用量やガソリンの使用量の減少が少しずつ、できており環境負荷の低減ができています。
環境への取組は適切に実施されているか	環境への取組は適切に実施できている ビジネスチャットツールで定期的に共有しており社員の環境負荷に対する意欲も維持できていて、環境保全と、ともに経費節減意識の向上と評価します。
環境経営方針	環境経営方針の変更は必要ない
環境経営目標・環境経営計画	環境経営目標・環境経営計画の変更の必要はない 環境目標の達成状況を見ると達成できていないところは、電気及びガソリンの使用量削減です。理由として電気使用量は、コロナウイルス対策で、窓を開放し温度を上げた為で様子を見ながら調整したいと思います。ガソリン使用量も、コロナ感染で、車の相乗りを避け、分散し配車してる状況で、今後は、電気同様にコロナ感染の様子を見ながら調整したいと思います。また環境に配慮した設計の提案や地域貢献活動は、今後も継続して行きたいと思っています。一方一般廃棄物処理に関しては、当方で分別管理しても業者が、混合してしまってる状況であるため今後検討を行う。
その他の環境経営システムの要素 ○取組の対象組織・活動の明確化 ○環境負荷の把握・評価 ○環境関連法規等の取りまとめ ○実施体制の構築 ○教育・訓練の実施 ○環境コミュニケーションの実施 ○実施及び運用 ○緊急事態への準備及び対応 ○環境文書及び記録の作成・管理 ○取組状況の確認及び評価	その他の環境経営システムも変更の必要はない 今後も業務を通じた地域貢献や魅力ある会社経営につなげ コロナウイルス対策と共に、SDGsを推進しながら地域の持続可能な社会の構築の実現にむけて励んでまいります。

令和5年12月22日
株式会社有明エンジニアリング
代表取締役 西 秀雄